

第4回 これからのコミュニティ施策の基本的考え方多摩区区域レベル取組検討会結果概要

- 1 日 時 令和元年5月26日（日） 午後2時～4時10分
- 2 会 場 多摩区役所11階1101会議室
- 3 出席者 委員21人、区役所職員3名
- 4 資 料 別添のとおり
- 5 結果の概要と出席者の主な意見

【これまでの振り返り】

- 第3回検討会の振り返りを行った。

【多摩区におけるソーシャルデザインセンター（SDC）の理念について】

- 資料1で示している理念は、5人の委員で議論して作成したたたき台。キャッチフレーズ的に「みんなが認め合い、力を合わせてみんなが幸せなまちをつくる」を出し、さらに補助的な説明を加えた。2つに分けたのは、誰が聞いても理解・イメージできる文章とし、具体的にどういうことをやっていくのかという概要を加える組み立てとしたため。
- 前回、理念について16の意見が出されたが、「多様な主体」、「多様な資源」などはこれだけだと分かりづらい。子どもでも分かるように、自分事として考えてもらえるように「多様な主体」を「みんな」とした。「つながる」という言葉も出ていたが、「つながりたくない人」「つながれない人」もいるので、「認め合い」とした。また、「住みやすいまち」という意見も出ていたが、住んでいる人以外の外から来る人にとっても良いまちにしていかななくてはならないので、「幸せのまち」とした。
- これまでの16の意見をまとめるとこうなるのではないか。最大公約数をとれば、ぼやけるのは仕方がない。
- この理念を今後、組織の目的、仕組み・仕掛けなどに具体的に落とし込んでいけるとよい。
- たたき台の「みんなが」がどこまでかかってくるかという解釈は人によって異なる。この検討会の議論の中で決まっていく。
- 「多様な主体」、「多世代」、「多様な資源」ということが大切にすべき点。これを皆さんにどう伝えるかというところから考えていくべき
- 理念の文章について、委員の意見を確認するため多数決を取った。
 - ①「みんな」は冒頭のみ 『みんなが認め合い、力を合わせて幸せなまちをつくる』
→6人
 - ②「みんな」を全部取る 『認め合い、力を合わせて幸せなまちをつくる』 →1人
 - ③「みんな」を3つにする 『みんなが認め合い、みんなが力を合わせて、みんなが幸せなまちをつくる』 →2人
 - ④点の位置をずらす 『みんなが認め合い力を合わせて、みんなが幸せなまちをつくる』
→10人
 - ⑤原案どおり 『みんなが認め合い、力を合わせてみんなが幸せなまちをつくる』
→④が多数のため、未確認

- これまでの 16 の意見は記録に残しておいて、SDCが立ち上がった際に何らかの文書表現にしていっていただければよいと思う。

【SDCの具体的な取組内容について】

- 前回、基本的考え方の9つの機能に沿って具体的な取組で出された意見を分類した。これを基に多摩区としてのSDCの機能について検討していきたい。

→出席委員を4グループに分け、多摩区のSDCの機能の検討を行い、結果を発表した。

グループ1

- ・①③⑤⑦⑧について検討した。①は専門職によるコーディネートや区民に対しての人材育成、団体対応をしてもらう。③の地域課題解決は早くできるものはやってほしい。10年先は外出できない人がタブレットやオンラインで関わっていけるようにしてほしい。⑤は人材育成。⑦、⑧は今までの団体の壁を取ってほしい。連携がされていない。⑧は新しい参加者を得る。

グループ2

- ・機能を自分達の言葉で表現するため、①～⑨の大テーマにつながる中テーマを選択することにした。①③④⑥⑨について検討した。①は1、35番、③は4、26、29、36番、④は9、35番、⑥は7、8、19、34番、⑦は2、9、17、30、36番

グループ3

- ・優先順位付けやそれを判断する基準について話をした。
- ・既存の市民団体で実施できるもの・やろうと思えばできるもの、SDCでなければできないものという分類の仕方があるのでは。SDCでなければできないものとしては、③地域課題解決の社会実験のように新しい取組につながるもの、②の資金の助成につながるような取組が考えられる。

グループ4

- ・具体的な検討に至らなかった。
- ・⑧について、ニーズは一体何か分かっているのかという疑問が出てきた。それを考えていかなければならない。①～⑨全てに登録団体支援とあるが、SDCやその機能との関係性はどうか、何を支援するのか。
- ・基本的考え方を書いてあることと、これまでに出た具体的な取組の意見を含めて、今の段階でのSDCの取組内容案を大まかに作って、フォーラムで提示して参加者から拾い上げてもらい確定していけばよいのではないか。

- 本当に困っている人の声を吸い上げられているのか分からない。フォーラムがその位置付けになると思う。多摩区は連携が薄い。連携をしながら全体でSDCを作っていくましようという形にしていくことが必要。
- 課題は出ているが、強みもあると思う。それが分かると課題の優先順位も付けていけるのではないか。
- スケジュールのこともあるので、前回と同じように何人かに集まってもらい原案づくりをしないと終わらない。
- 何の話をしたらいいのかよくわからなかった。どうやって自分たちの言葉でまとめる

のかというのは大変なことで短時間ではできない。この内容はここでしっかりと時間を取ってやるべきだと思っていた。

- フォーラムでは、理念、具体的な取組内容などもはっきり示せるところまで持っていくのがよい。
- やり方が分からないという意見があったが、その現状が見えたのはよかった。今日話し合ってみて温度差があることも分かった。少人数でたたき台を検討するやり方がよいと思う。

→次回検討会までに希望する委員で原案作成することとし、参加する委員を決定した。

【SDC開設場所のアイデアについて】

- 次回検討することとしたい。3月の準備会で区から状況の説明があった、区役所1階ふれあいショップせきれい跡地か、それ以外の適した場所がないか、次回までに考えてきてほしい。

【フォーラムの開催案について】

- 区から7月の多摩区フォーラムの開催案を資料3により説明した。

【SDCのキャッチフレーズについて】

- 今回議論した理念の文章と照らし合わせて、再度キャッチフレーズを考えることを次回検討会までの宿題とする。

- ◎ 次回検討会の司会進行をする委員を決定した。
- ◎ 上記のとおり、SDC開設場所のアイデア、キャッチフレーズの案について次回検討会までの宿題とした。

―次回検討会の日時等について―

- ⇒ 次回は、6月14日（金）午後7時から開催する。